

「平成29年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第2回）」
議事概要

I 日 時

平成29年9月7日（木）14:55～16:30

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階 会議室1～3

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

和田 義博（公認会計士）

◎疋田 英一郎（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○大塚 美智子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ 松田委員は欠席

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

（1）審議事項案件

① 平成29年10月から12月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について

② 平成29年4月から6月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について

I：随意契約等における価格交渉状況

II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

III：低落札率案件の予定価格設定等

（2）その他

V 議事内容

- (1) ① 平成29年10月から12月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 平成29年4月から6月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
- I：随意契約等における価格交渉状況
 - II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
 - III：低落札率案件の予定価格設定等

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<p>① 随意契約の妥当性・合理性の観点から、判断基準の明確化、及びチェック体制の確立を行うこと。</p> <p>② 企画競争にて調達を行う際には、機構側が期待するポイントを評価基準書あるいは仕様書に盛り込むことで、第三者に明確にすること。</p> <p>③ 一般競争入札の総合評価落札方式における足切りルール（1項目の足切り基準抵触による落札不可）の見直しを行い、足切りとなる点の重要度が高い場合、仕様書に記載し、第三者に対して事前の条件提示を確実にすること。</p>	<p>ご意見のとおり、努めてまいります。</p>

(2) その他

平成29年9月～12月調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。

以上